

子育て **小児医療費無料化拡大
が実現!!**

公明党は小児医療費無料化の対象年齢の引き上げと所得制限の緩和を、議会で何度も粘り強く取り上げてきました。平成23年6月の議会では阿部市長から「私の任期中に所得制限の緩和や通院助成対象年齢の拡大に向けて実現できるよう検討する」との答弁を引き出しました。

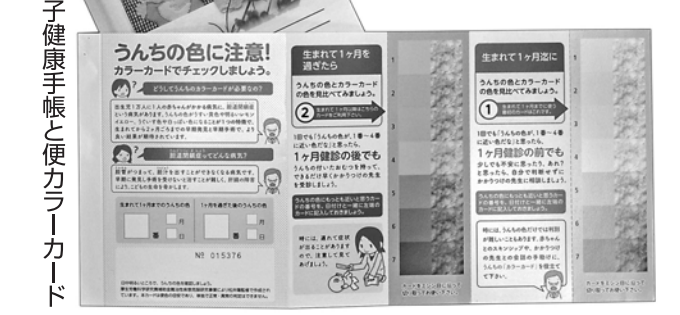
早速、平成24年度予算に盛り込まれ、本年9月から小学校1年生までに拡充されます。所得制限の緩和も同時に実施されます。



..... **べん
便カラーカードが母子健康手帳に!!**

胆道閉鎖症のお子さんを抱えるお母さんから、早期発見のための便カラーカードを母子健康手帳に綴じこんで欲しいとの要請を受け、公明党は平成22年9月議会で質問。それにより川崎市は全国に先駆け、一昨年の12月から便カラーカードの導入を実現しました。

平成24年度からは国基準として母子手帳への綴じ込みが採用されました。



..... **観光振興で魅力あふれる川崎へ!!**

公明党は、平成19年の議会で、川崎工場群の夜景も含め、あらゆるものを観光資源に活用した経済の活性化を提案。工場夜景観光や川崎港クルーズが実現しました。

また、青少年科学館のリニューアルに際し、世界最高水準のプラネタリウム導入や多摩川のビジュアル水族館、さらに藤子・F・不二雄ミュージアムの建設など様々な提案を行ない、観光資源として好評を博しています。

..... **保育園の待機児童に歯止めを!!**

公明党は平成21年6月議会で年間1000人超の定員増を図るよう提案。その結果、平成23年度から3年間で4320人の定員枠の拡大が実現しました。

また、川崎市認定保育園の拡大を強く主張し、平成24年度には新たに9園が認定されました。(幸区3園、中原区3園、高津区1園、宮前区2園)



..... **景気雇用
川崎が医療研究の
先進都市に!!**

公明党は川崎を医療研究の先進都市にするべく議会で10回以上にわたってこの件を取り上げるとともに、国・県・市のネットワーク政党の特長を発揮して国へ要請するなど特区指定を強く推進しました。

こうした努力が実り、平成23年12月、川崎区殿町3丁目地区が最先端の医療研究・新薬開発を進めるライフノベーション国際戦略総合特区に決定しました。

20年後には薬や医療機器などで14兆円の市場が見込まれ、23万人の新たな雇用も期待されています。

..... **市独自の就職相談窓口を創設!!**

公明党が雇用促進のために平成15年の議会以来7回にわたって要求してきた、市独自の相談窓口である「キャリアサポート かわさき」が平成19年に実現しました。さらに、市として市内企業を訪問して求人情報を得るべきと主張し、求人開拓員を配置することができました。

また、出張就職相談会(平成24年度から週2回、川崎区役所・多摩区役所)も開かれています。



.....



臨海部の夜景

平成24年臨時号(第67号) **NEW KOMEITO
公明党** **公明市議会ニュース**

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1丁目 TEL 044-200-3361 発行人：菅原 進 編集人：後藤晶一 <http://www.komei-kawasaki.com/>

公明党は川崎市民の皆様の関心事である「福祉・医療」、「子育て」、さらに「景気・雇用対策」などについて、議会質問や委員会審査で積極的に取り上げ、市民生活向上のための実績を積み重ねてきました。

また「防災対策」については、公明党市議団が全力で市民の目線で改善を図ってきました。今後も一人ひとりのご意見を伺いながら、皆様が安全で安心して暮らせる「かわさき」の構築に向けて全力で働いてまいります。

..... **医療福祉
がん検診の無料クーポン
券の配布を実現!!
予防ワクチン接種も無料化!!**

日本人の死亡原因の第1位は「がん」で、全体の約30%を占めています。また毎年「がん」になる人は約50万人ともいわれています。

公明党は、早期発見に向け、子宮頸がん(20歳-40歳)、乳がん(40歳-60歳)、大腸がん(40歳-60歳男女)について、無料クーポン券の配布を平成21年6月の議会で提案し、5歳刻みで配布が実現。

また予防ワクチン接種は、平成20年3月の議会で提言。子宮頸がんの予防ワクチン・ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの無料化(公費助成)も実現しました。



..... **介護施設の拡充に取り組む!!**

公明党が、不足する特養老人ホームを含む介護施設の拡充を毎年要望してきた結果、現在は40施設3202床まで拡充されました。さらに平成26年度までに幸区河原町や宮前区野川、多摩区西生田などに8施設を増設し、726床を増す予定です。

医療的ケアができる介護老人保険施設も17施設、2001床へ増設し、今後、中原区に120床の施設の新設も決まりました。

また、住み慣れた地域で暮らし続けたいとの高齢者の意向を大切に、サービスやショートステイが可能な地域密着型の小規模介護入所施設の増設も進展しています。これも公明党が平成11年7月議会で取り上げ、取り組んできた実績です。

..... **新百合ヶ丘総合病院の誘致に尽力!!**

川崎北部の病院不足解消のため、公明党が中心となって約60,000人の署名活動を行い、それが大きな推進力となって、産科・小児科を備え、救急搬送受け入れ可能な新百合ヶ丘総合病院が、本年8月1日に開設を迎えます。

新設される病院は、がんの早期発見に有効なPET(3台)などの最先端の機器を導入し、理系大学との連携や頭蓋底センター所長に「神の手」として著名な福島孝徳教授が就任するなど、国内でも有数な高度最先端医療をめざしています。



新百合ヶ丘総合病院の完成予想図

..... **急増する認知症への対策を強化!!**

公明党は、増え続ける認知症に対応し、気軽に電話で相談できるコールセンターの設置を平成21年度議会で求めました。その結果、22年度には、政令指定都市でいち早く導入することを実現。

また、認知症グループホームの設置を推進(平成24年4月現在51か所)。介護と医療の連携で、症状に的確に対応する「認知症疾患医療センター」の設置(平成25年度設置予定)などを力強く推進しました。

